

保健連絡員とは

区長の推薦を受けて選ばれ、身近なところから**地域の健康づくり**を支える大切な役割を担っています。

保健センターと協力しながら、地域の健康課題を知り、必要な情報を住民に伝えたり、健康づくりの取り組みに参加したりしながら、住民が安心して暮らせる地域づくりに貢献しています。

区長と保健センターとの協力によって、「**地域に根ざした視点**」と「**専門的な支援**」の両方を持ちながら活動できる、地域にとってとても大切な存在です。

個人の活動



健康情報を
住民へ届ける



困りごとを保健
センターにつなぐ



学習会や体験会の
企画・参加



高齢者や子どもなど
地域の方への声かけ



地域イベントへの協力

保健センターと協力しながら、日々の暮らしの中で、
できることを大切にして活動しています。

住民 ↔ 保健連絡員 ↔ 保健センター

このつながりが、安心して暮らせる地域を支えています。

地域住民が、健康で生き生きと安心して生活ができるよう、地域で見守りや声かけを行ったり、必要に応じて、健康づくり、介護予防、検診・検診、子育てなどの事業内容をを紹介したり、保健センターにつないだりしています。

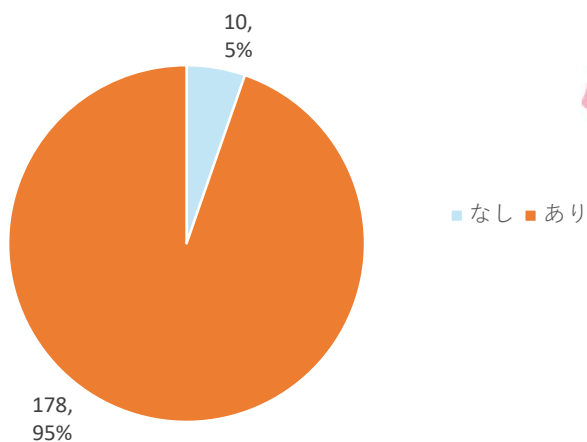
以下のグラフは、保健連絡員の**地域での活動内容**（声掛け・見守り、話題・報告、チラシ配布など）の実施人数を多い順に並べ、地域における保健連絡員活動の取り組み傾向を示したものです。



6 地区全体

保健連絡員の数	233人
報告数	188人

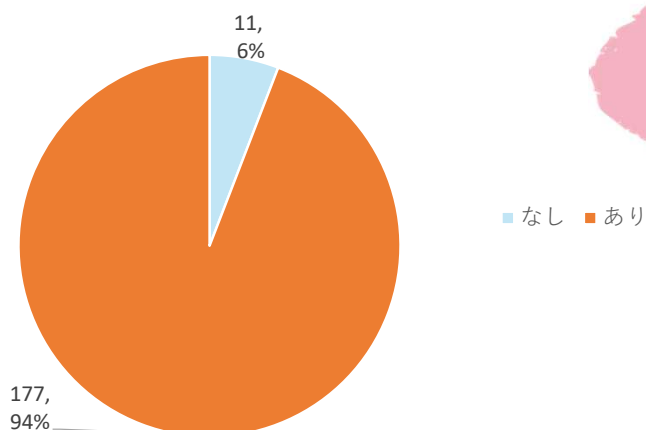
保健連絡員の地域への関わり



保健連絡員の個人活動報告188人のうち、**178人（約95%）**が地域に向けた活動に関わっていました。

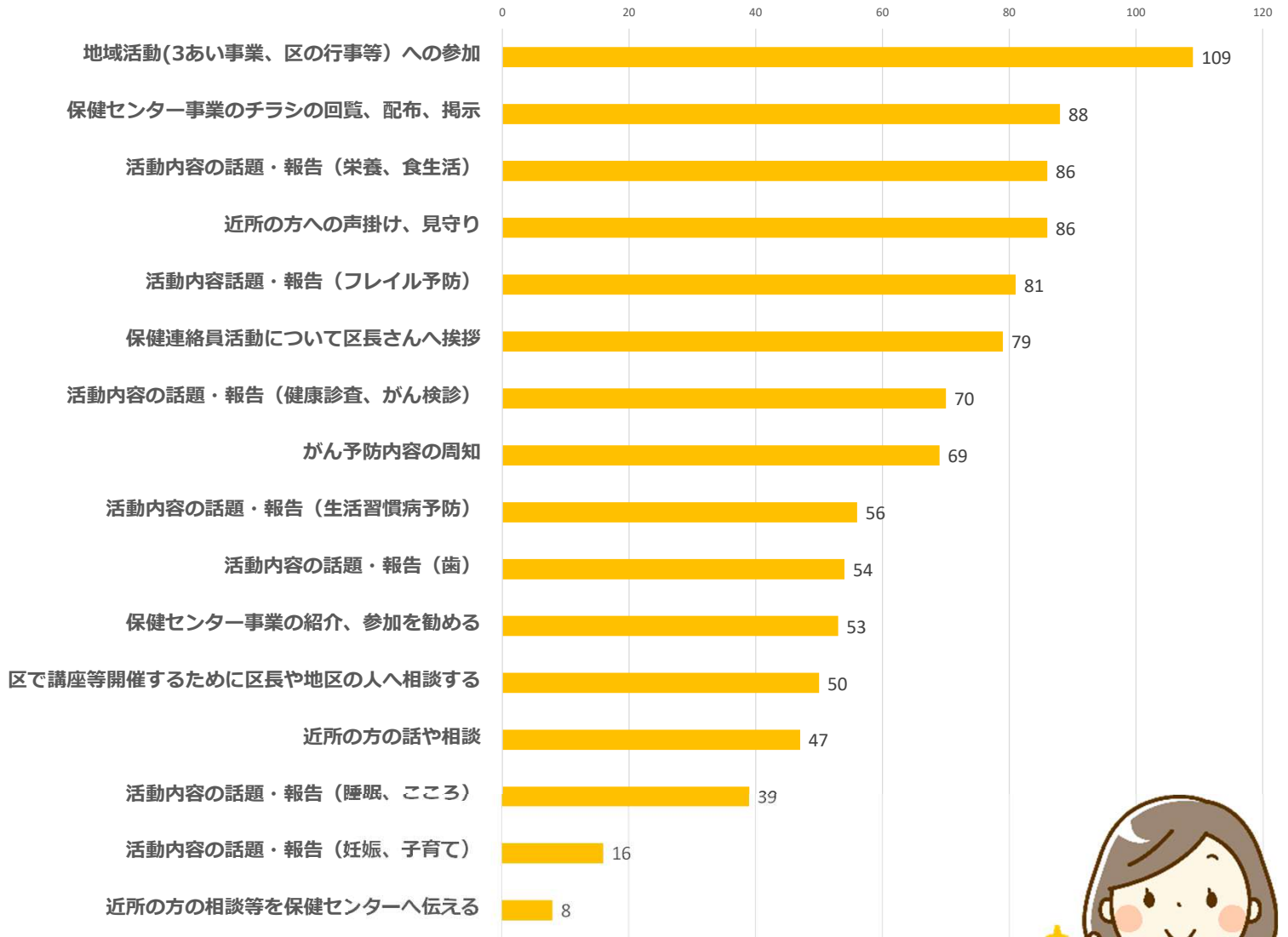


市の健康づくり事業の活用状況



保健連絡員の個人活動報告188人のうち、**177人（約94%）**が、市の事業を活用して自身の健康づくりに取り組んでいました。

保健連絡員 [全体] の地域活動 実施人数 (複数回答)



このグラフから、保健連絡員の皆さまが地域で積極的に活動されている様子が分かります。特に **声かけ・見守り** の取り組みが多く、身近な場所で住民の方々を温かく支えている姿がうかがえます。

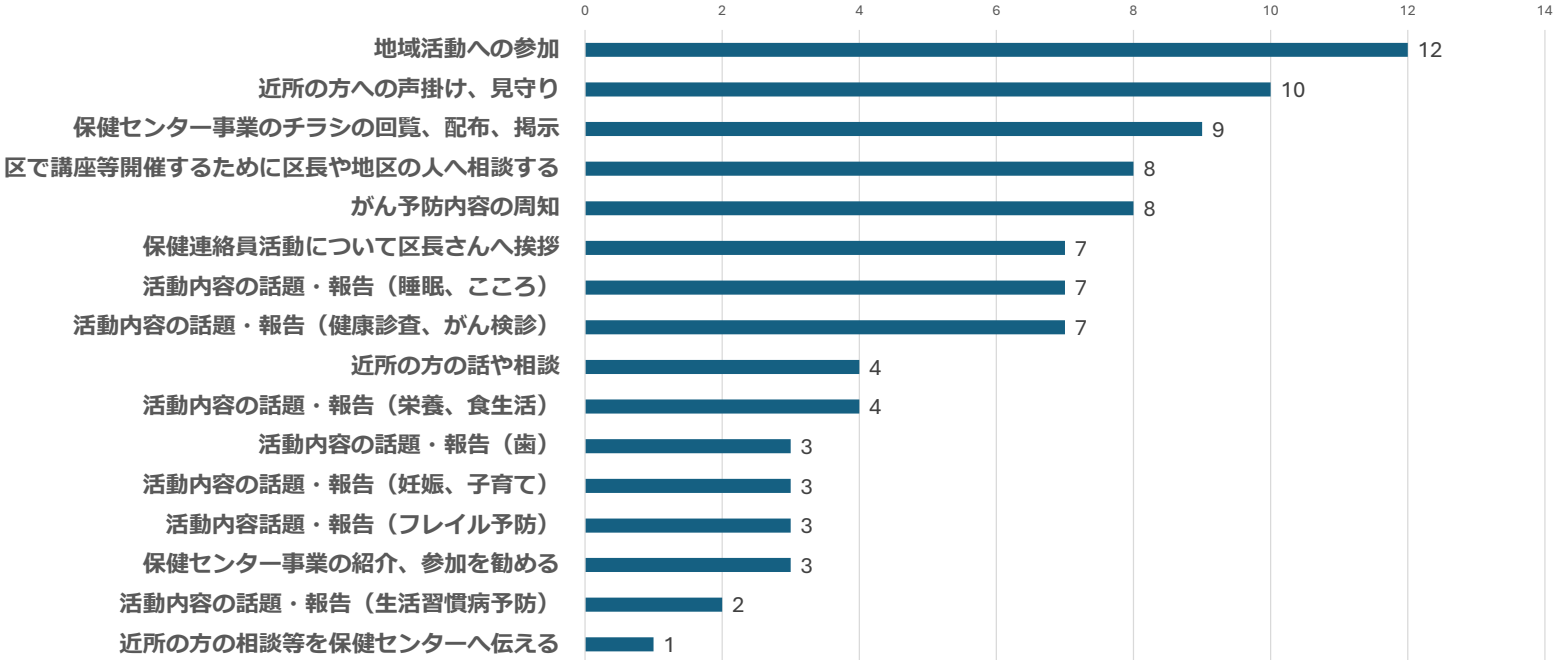
また、**話題提供・報告、チラシ配布** などの情報提供も多く行われており、地域へ健康情報を広げる役割をしっかりと担っていただいていることが伝わります。保健連絡員の活動が、地域の健康づくりに幅広く貢献していることがわかります。



小牧南 地区

保健連絡員の数 23人
報告数 19人

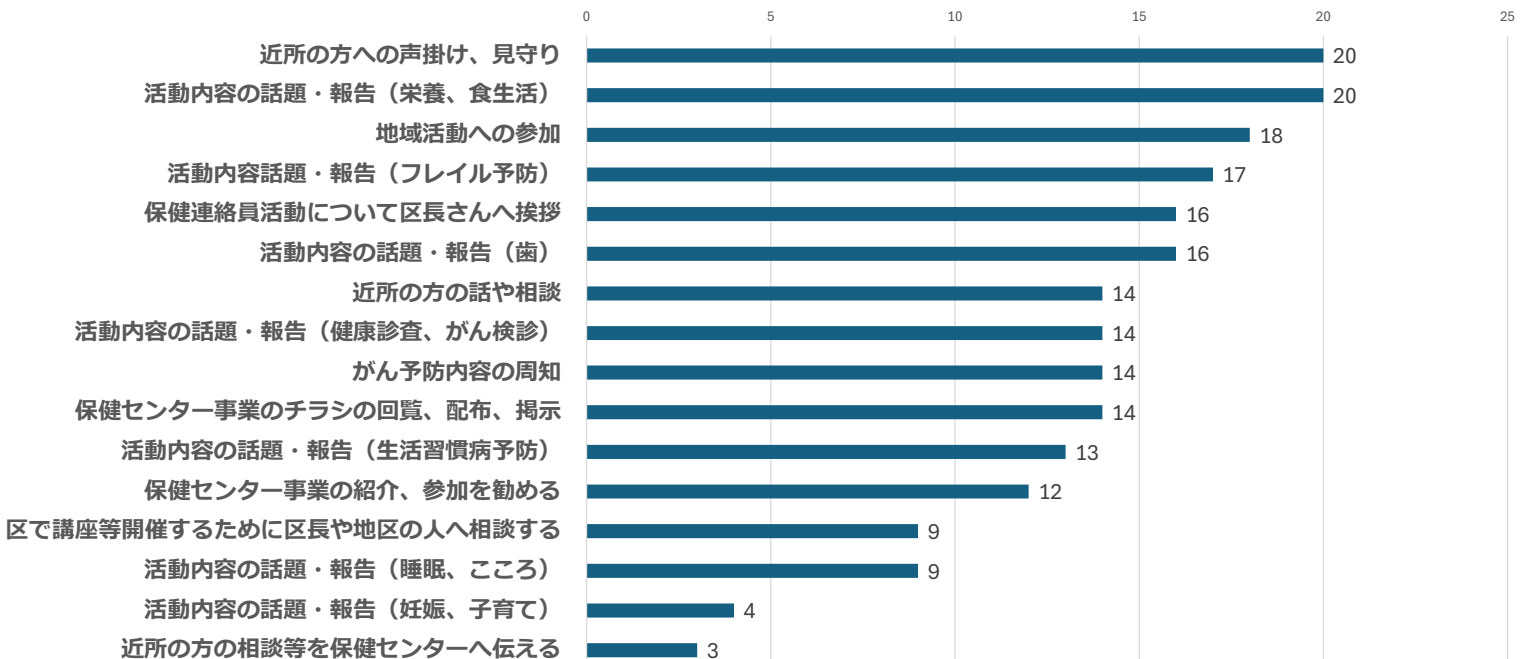
保健連絡員【小牧南地区】の地域活動 実施人数（複数回答）



小牧 地区

保健連絡員の数 42人
報告数 36人

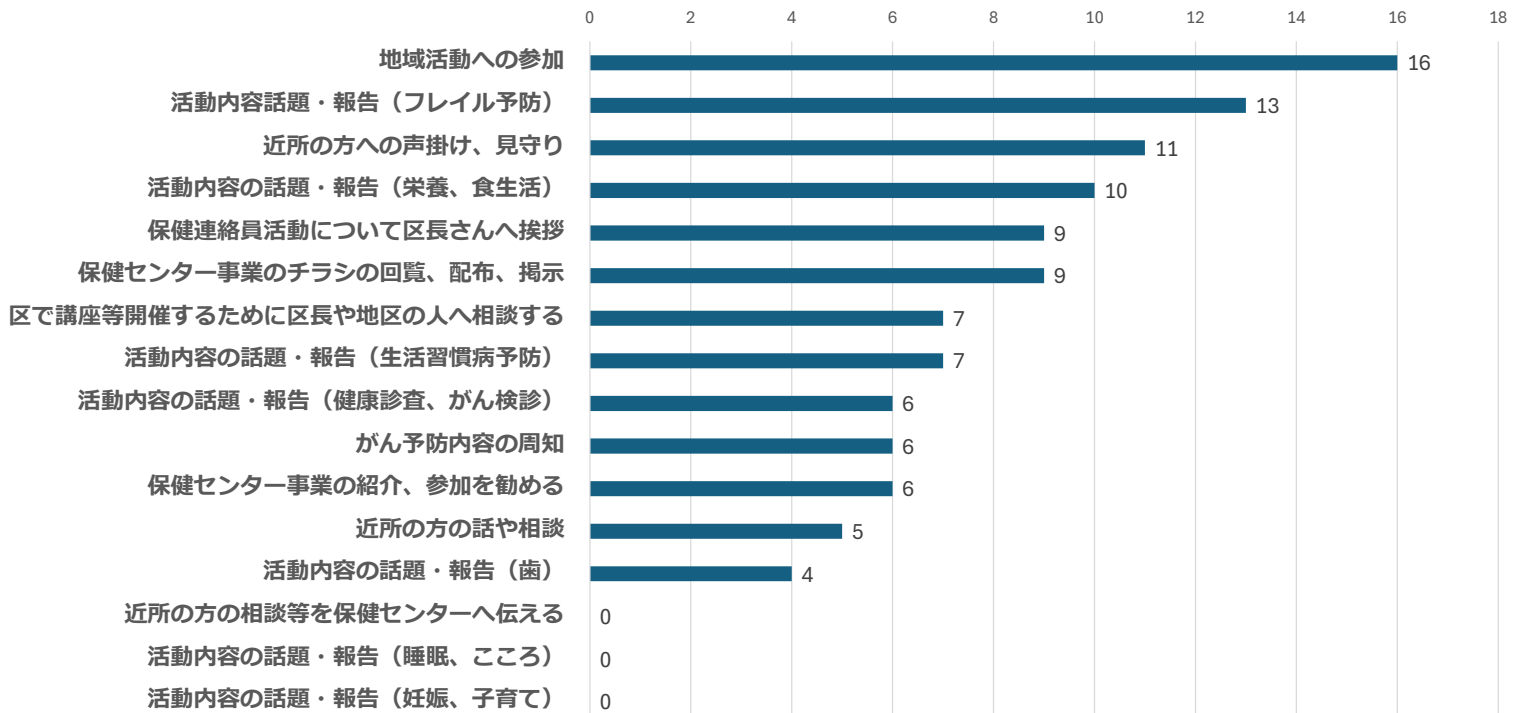
保健連絡員【小牧地区】の地域活動 実施人数（複数回答）



巾下 地区

保健連絡員の数 22人
報告数 21人

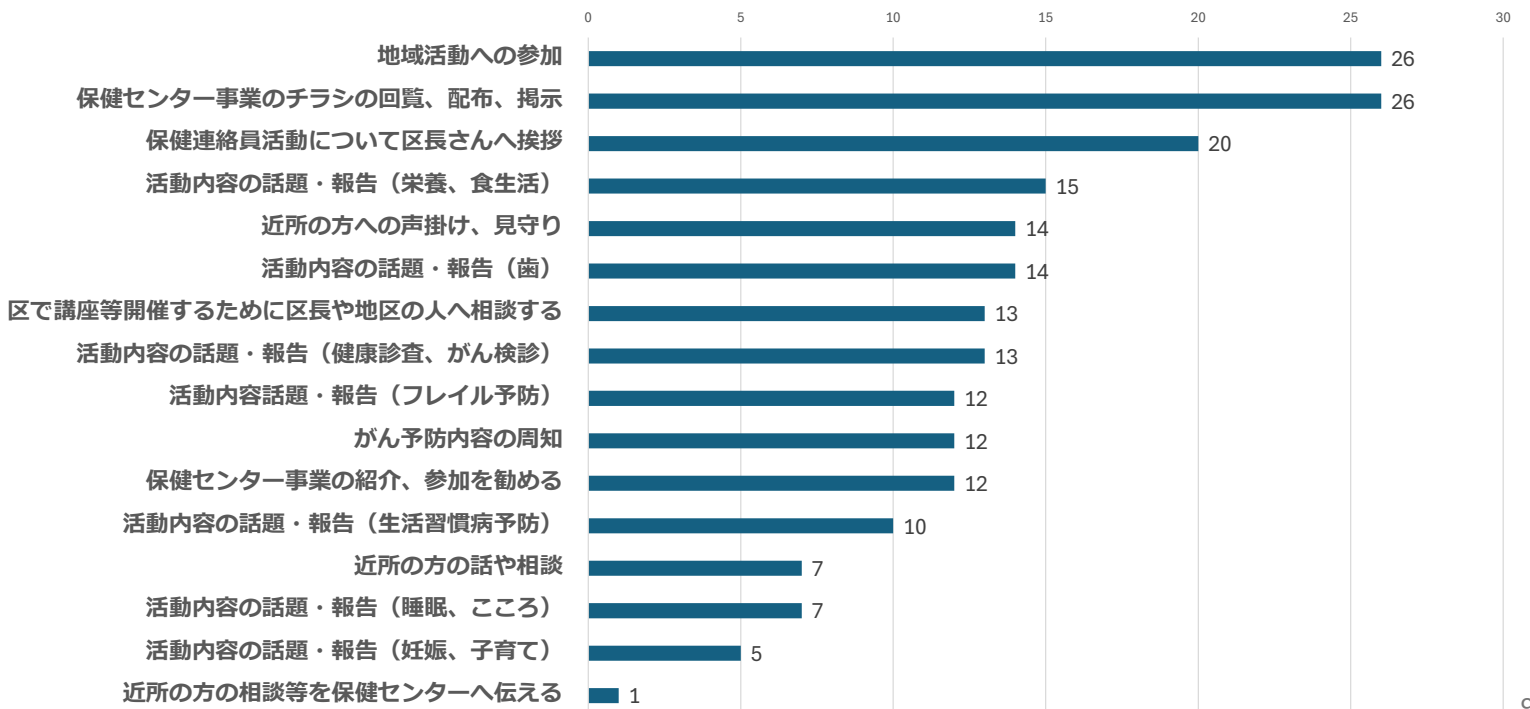
保健連絡員 [巾下地区] の地域活動 実施人数 (複数回答)



味岡 地区

保健連絡員の数 49人
報告数 33人

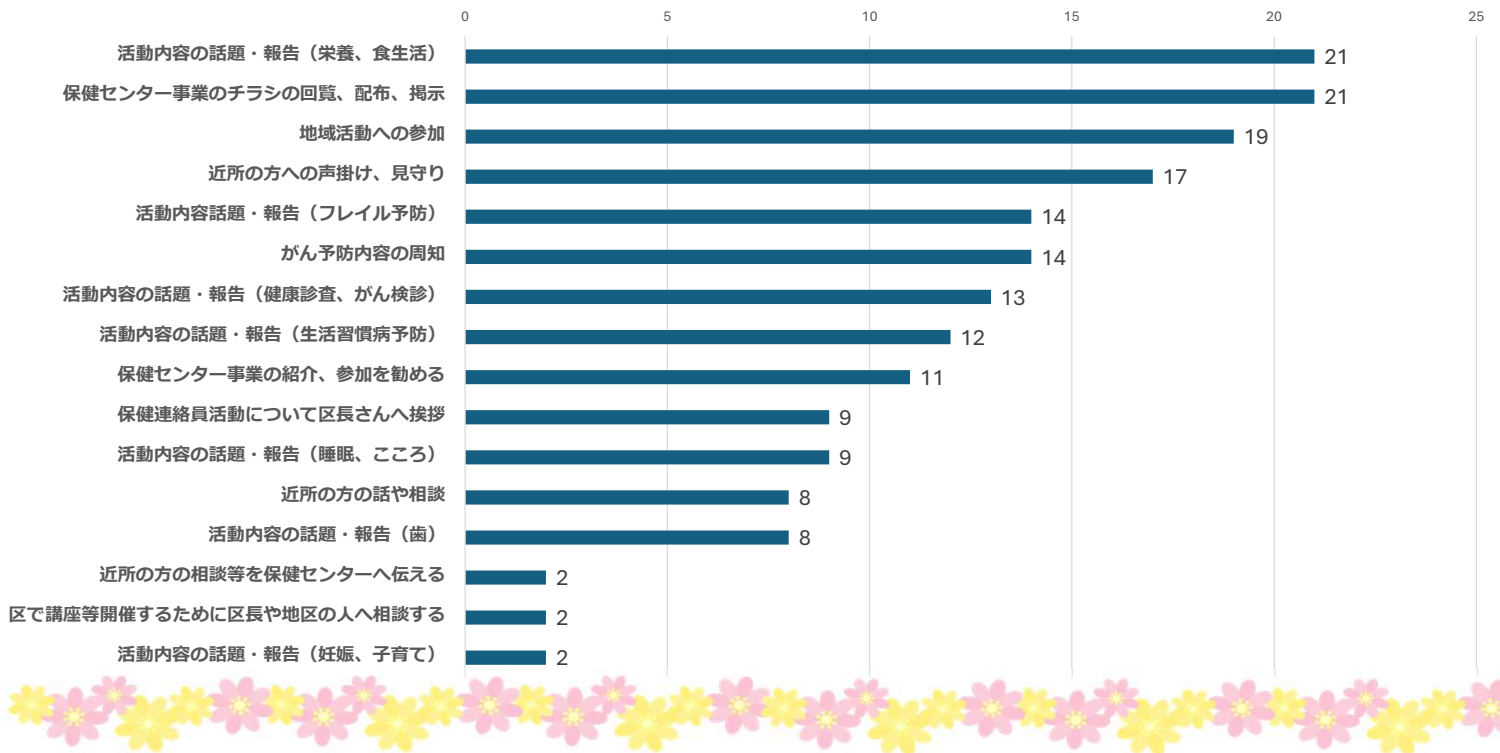
保健連絡員 [味岡地区] の地域活動 実施人数 (複数回答)



東部 地区

保健連絡員の数 60人
報告数 43人

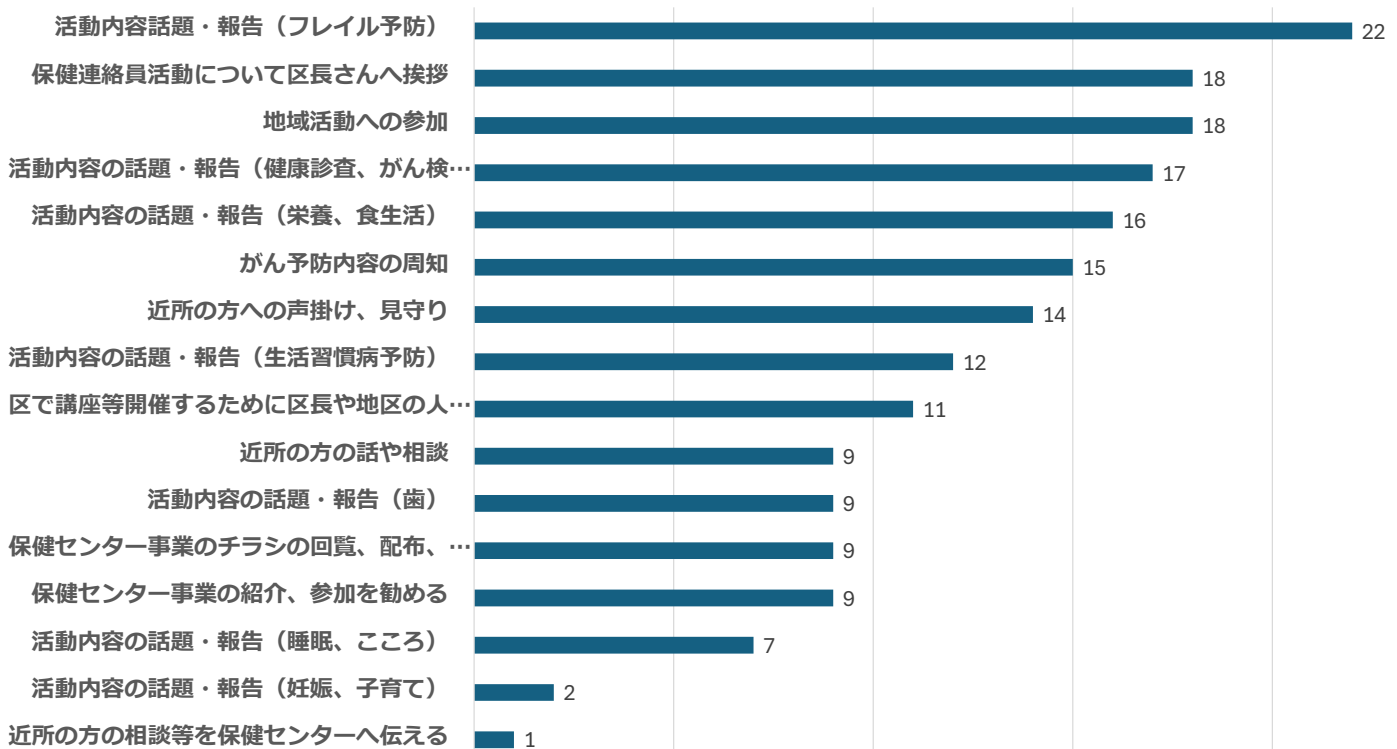
保健連絡員 [東部地区] の地域活動 実施人数 (複数回答)



北里 地区

保健連絡員の数 37人
報告数 36人

保健連絡員 [北里地区] の地域活動 実施人数 (複数回答)



以下のグラフは、**保健連絡員自身の各種健康事業・講座への参加状況を人数の多い順に並べ、事業活用の傾向を示したものです。**



6 地区全体

保健連絡員の数 233人
報告数 188人

保健連絡員〔全体〕自身の受診・事業参加人数（複数回答）



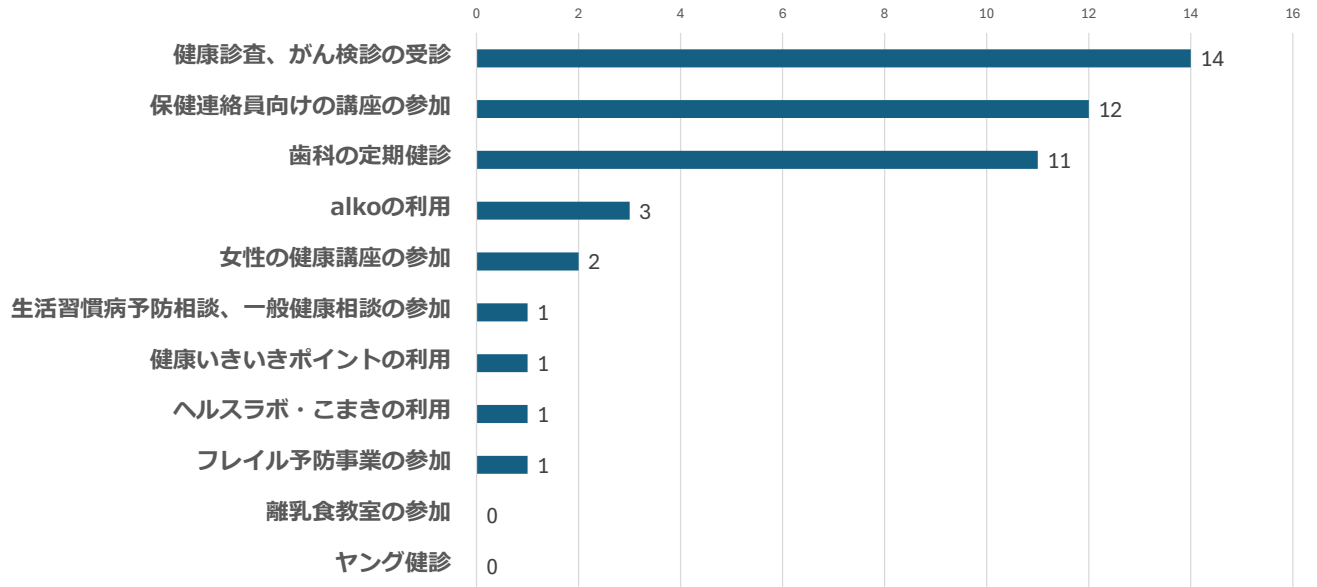
このグラフから、保健連絡員の多くが**歯科の定期健診**や**健康診査・がん検診**を受けていることが分かり、自分自身の健康に意識を向け行動に移されている様子が伝わります。また、**講座への参加**も多く、さらに**alkoなどの市の事業**を活用した自分自身の健康づくりの取り組みを行っている様子がうかがえます。



小牧南 地区

保健連絡員の数 23人
報告数 19人

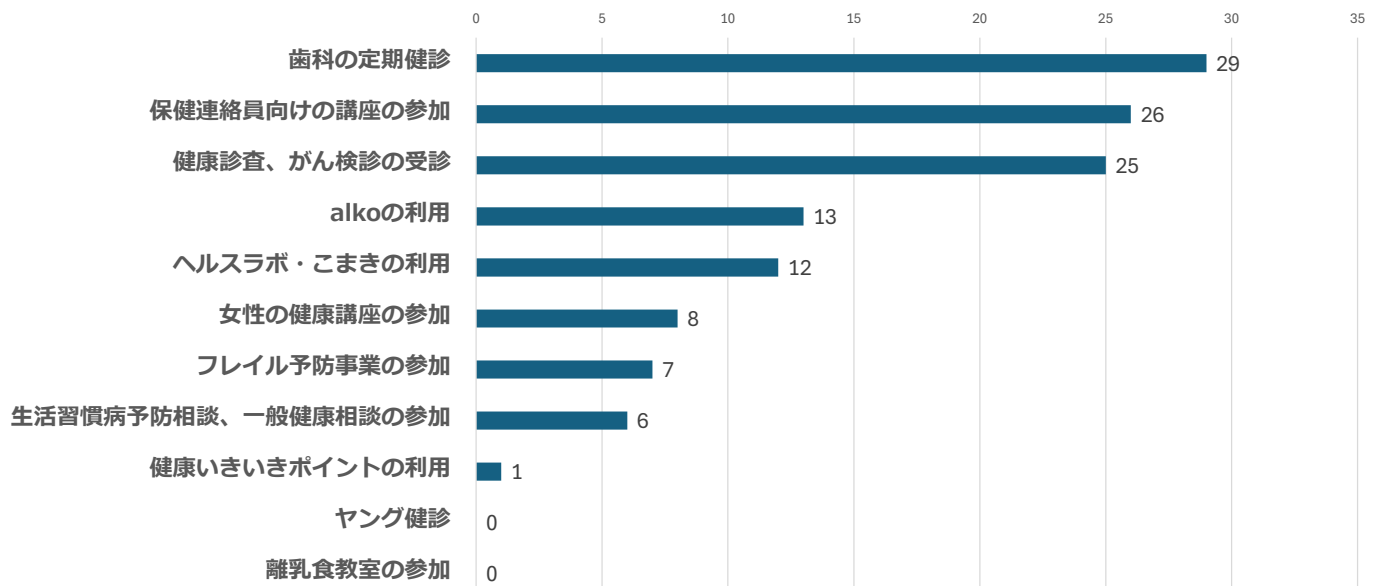
保健連絡員 [小牧南地区] 自身の受診・事業参加人数 (複数回答)



小牧 地区

保健連絡員の数 42人
報告数 36人

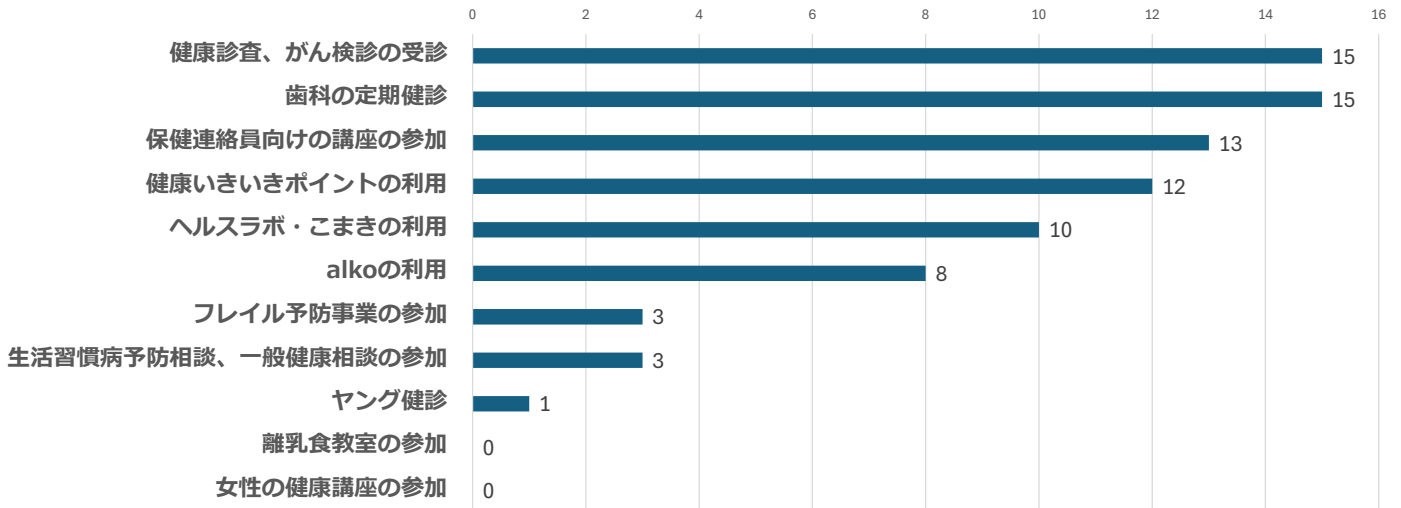
保健連絡員 [小牧地区] 自身の受診・事業参加人数 (複数回答)



巾下 地区

保健連絡員の数 22人
報告数 21人

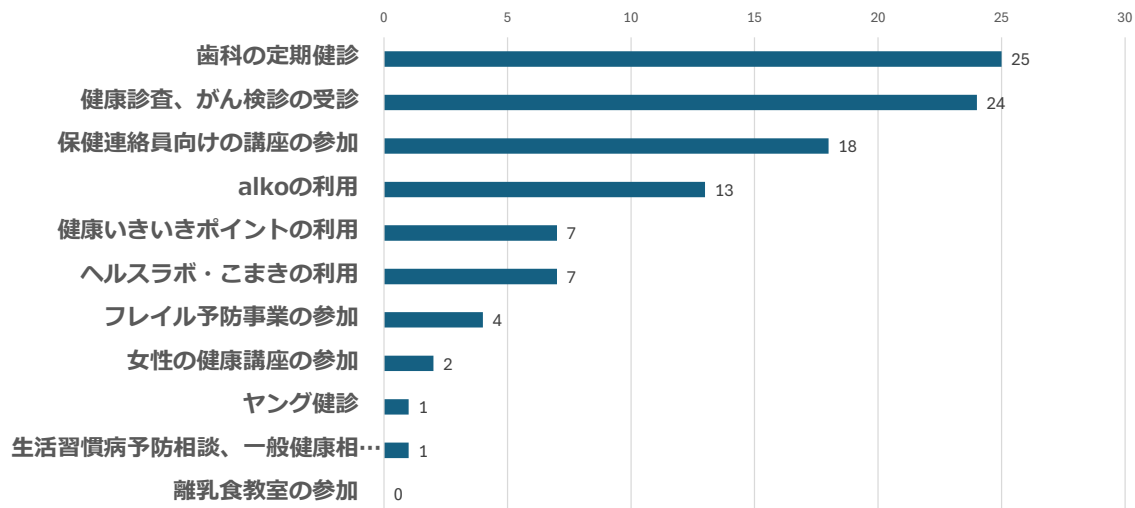
保健連絡員 [巾下地区] 自身の受診・事業参加人数 (複数回答)



味岡 地区

保健連絡員の数 49人
報告数 33人

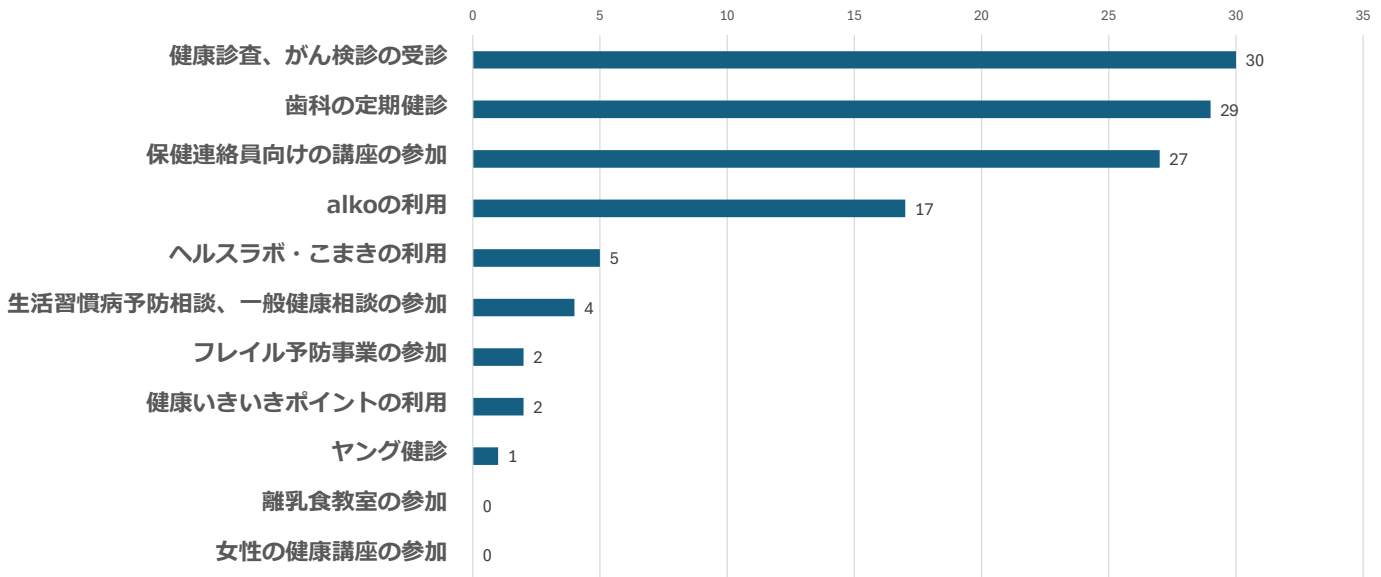
保健連絡員 [味岡地区] 自身の受診・事業参加人数 (複数回答)



東部 地区

保健連絡員の数 60人
報告数 43人

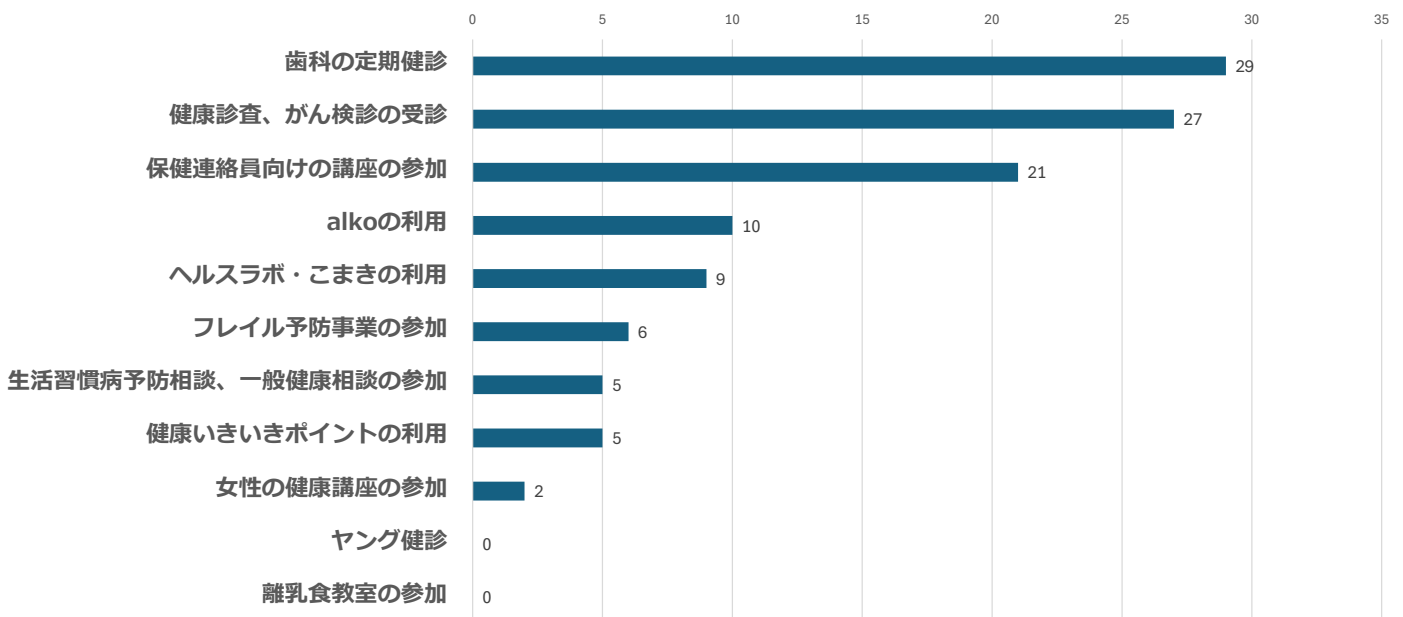
保健連絡員 [東部地区] 自身の受診・事業参加人数 (複数回答)



北里 地区

保健連絡員の数 37人
報告数 36人

保健連絡員 [北里地区] 自身の受診・事業参加人数 (複数回答)

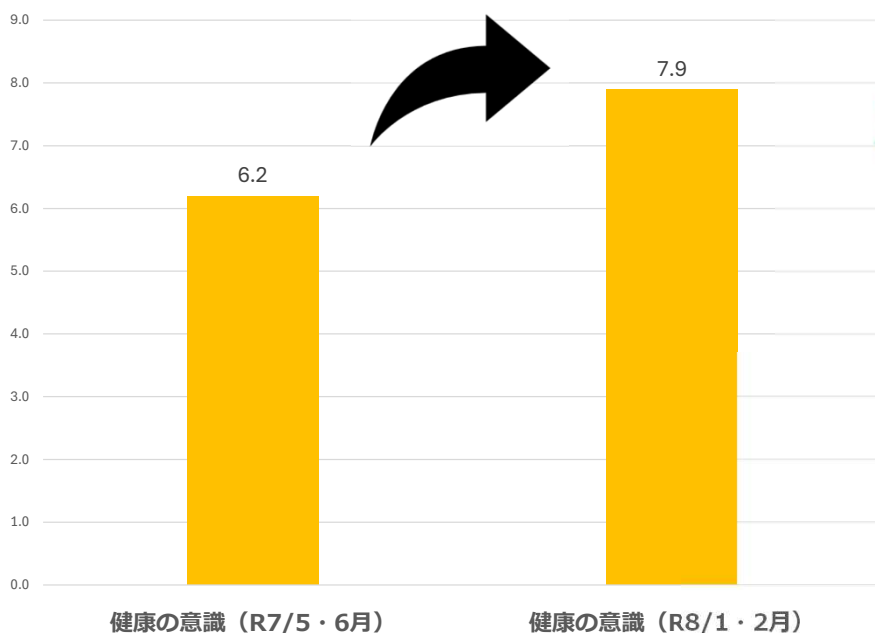


以下のグラフは、**健康の意識**について/**ゲートキーパー**（心の健康を支える役割）への理解度について、10段階で自己評価を行った結果を示したものです。



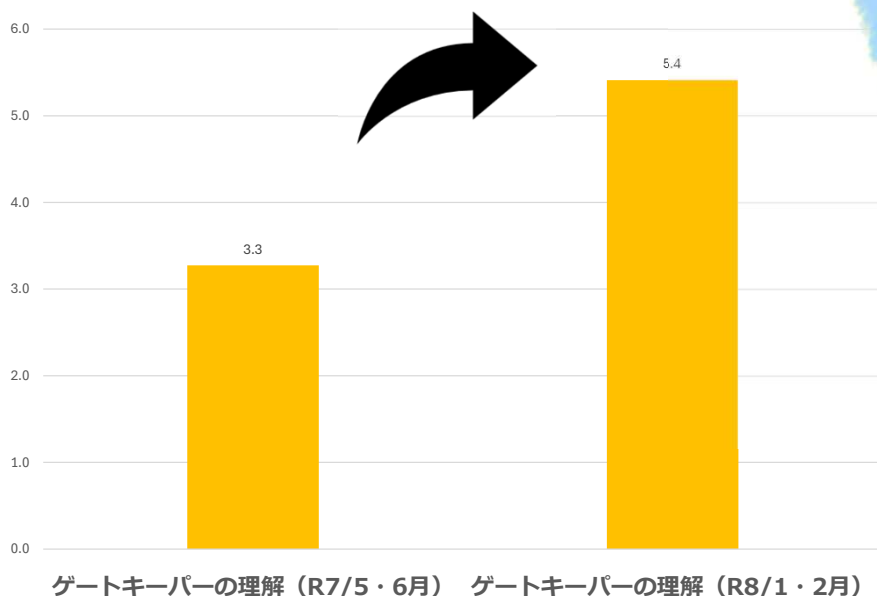
6 地区全体

健康の意識の変化（R7/5・6月 → R8/1・2月）



活動開始時（令和7年5.6月）の平均は **6.2** でしたが、活動後（令和8年1・2月）には平均 **7.9**へと上昇しました。
約1.7ポイントの向上が見られ、保健連絡員としての活動を通じて、健康への意識が高まったことがうかがえます。

ゲートキーパーの理解の変化（R7/5・6月 → R8/1・2月）

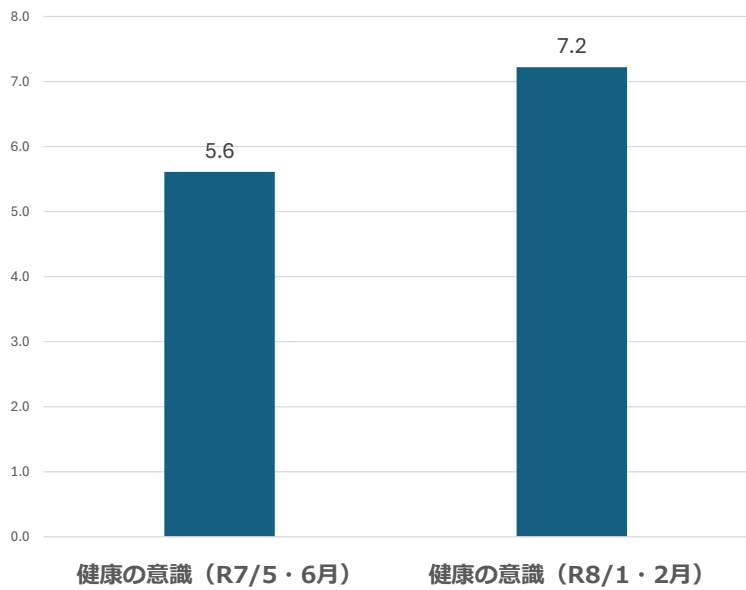


活動開始時（令和7年5・6月）の平均は **3.3** でしたが、活動後（令和8年1・2月）には平均 **5.4**へと上昇しました。
約2.1ポイントの向上が見られ、学習会や講座を通じてゲートキーパーへの理解が深まったことが示されています。

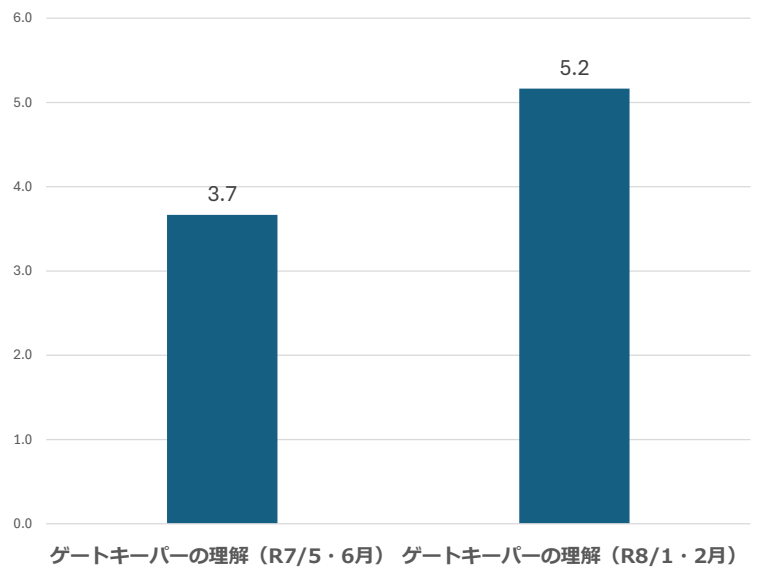


小牧南 地区

健康の意識の変化 (R7/5・6月 → R8/1・2月)

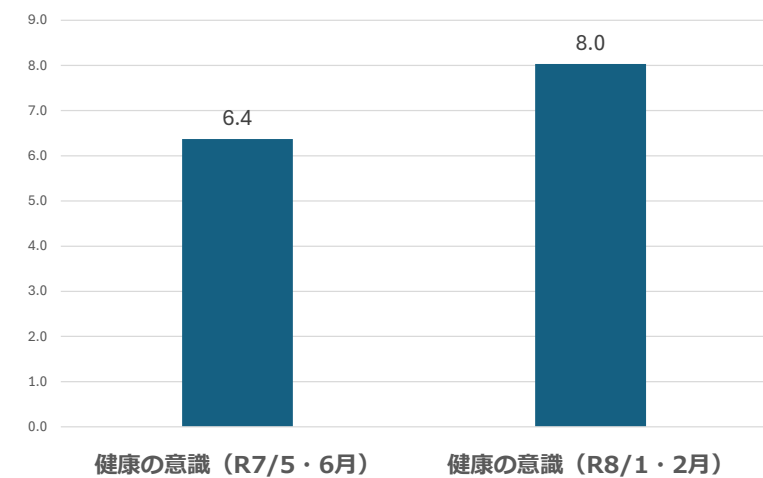


ゲートキーパーの理解の変化
(R7/5・6月 → R8/1・2月)

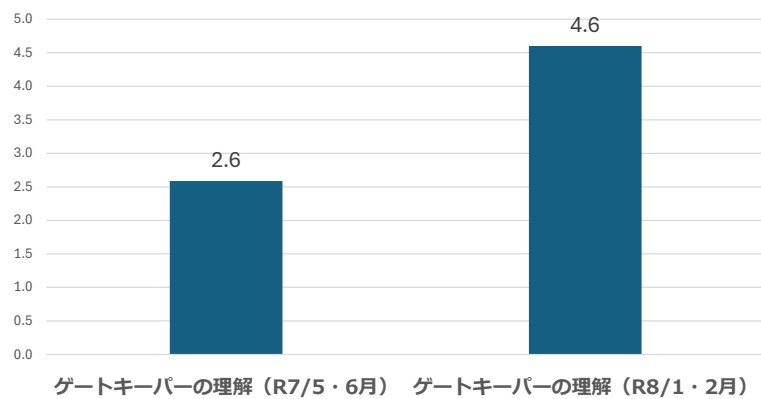


小牧 地区

健康の意識の変化 (R7/5・6月 → R8/1・2月)

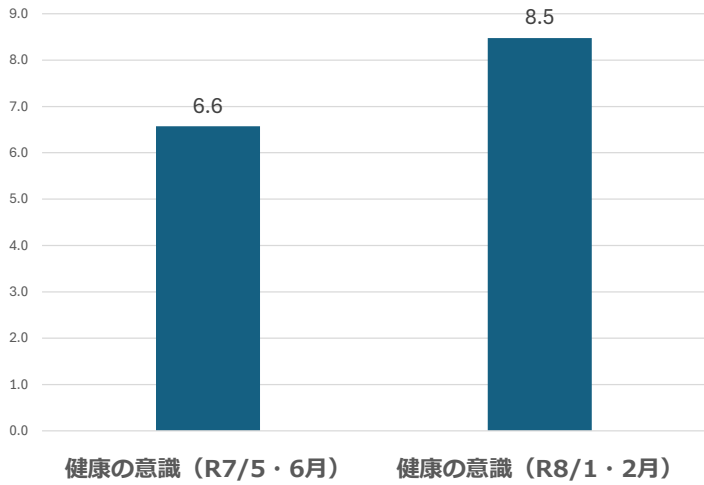


ゲートキーパーの理解の変化
(R7/5・6月 → R8/1・2月)

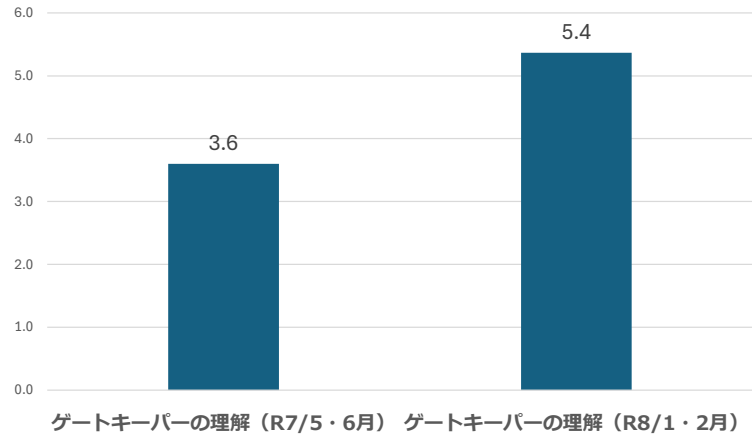


巾下地区

健康の意識の変化 (R7/5・6月 → R8/1・2月)

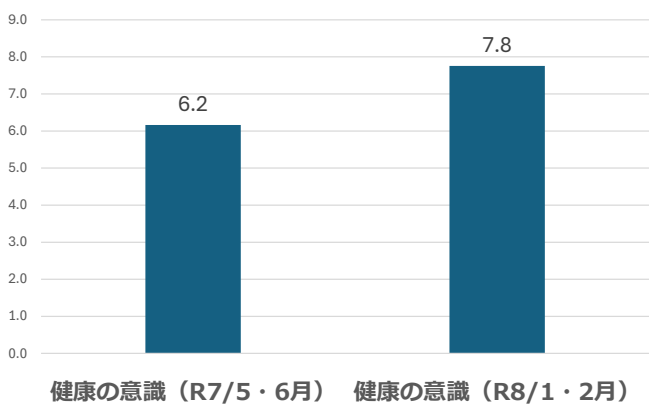


ゲートキーパーの理解の変化
R7/5・6月 → R8/1・2月)

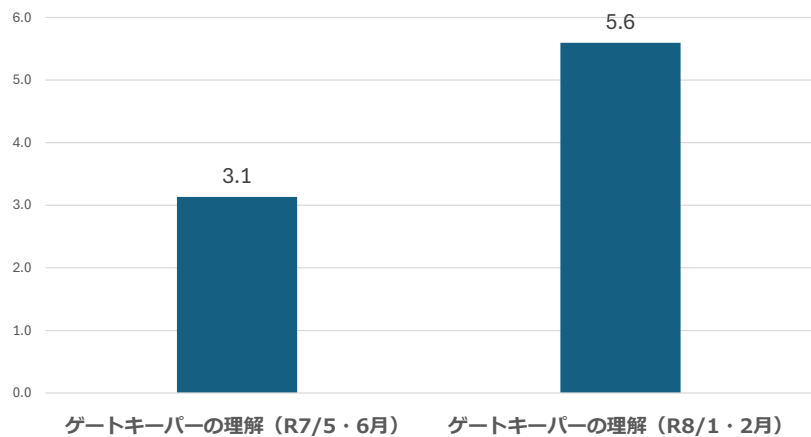


味岡地区

健康の意識の変化 (R7/5・6月 → R8/1・2月)

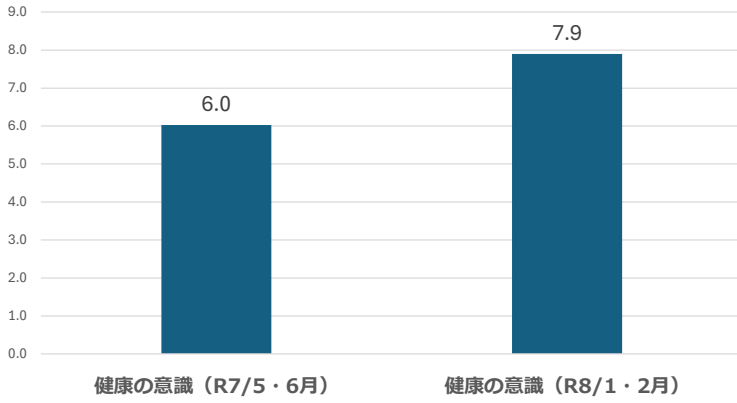


ゲートキーパーの理解の変化
(R7/5・6月 → R8/1・2月)

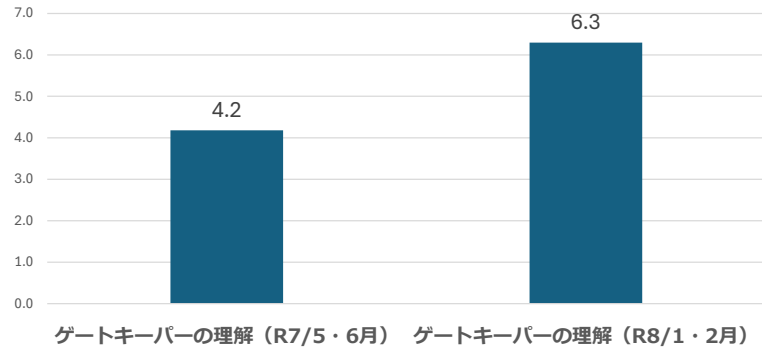


東部 地区

健康の意識の変化 (R7/5・6月 → R8/1・2月)

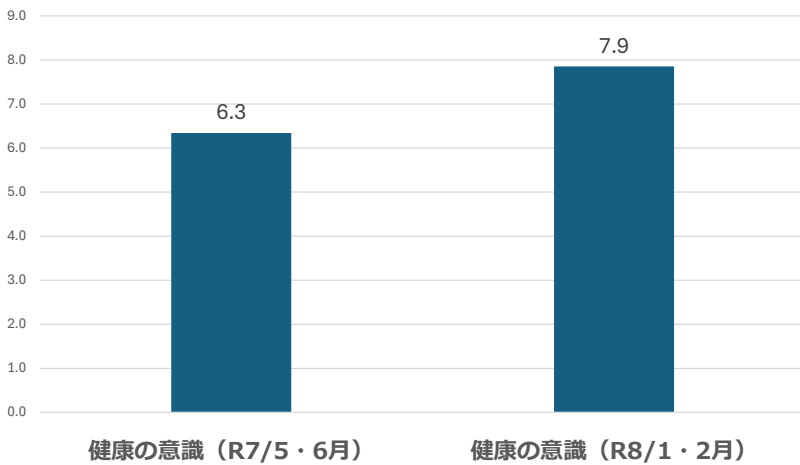


ゲートキーパーの理解の変化
(R7/5・6月 → R8/1・2月)



北里 地区

健康の意識の変化 (R7/5・6月 → R8/1・2月)



ゲートキーパーの理解の変化
(R7/5・6月 → R8/1・2月)

